

1 単元 現代の民主政治

2 教科の目標

国や地方公共団体の政治の仕組みや働き，現在の選挙制度を理解できる。また，国民の政治参加の在り方について考えることができる。

3 活用したICT

デジタルカメラ プロジェクタ 電子黒板

4 活用したICTの特性

- ・ 自分の考えを発表する際，考えを記入したワークシートを拡大提示することにより，聞き手が分かりやすい発表にすることができる。(デジタルカメラ・プロジェクタ)
- ・ グループでまとめた提示資料を保存することで，発表のときの補足資料として生かすことができる。また，グラフや新聞記事などを拡大提示することで，資料に関して，生徒に具体的に考えさせることができる。(プロジェクタ・電子黒板)

5 実践の様子

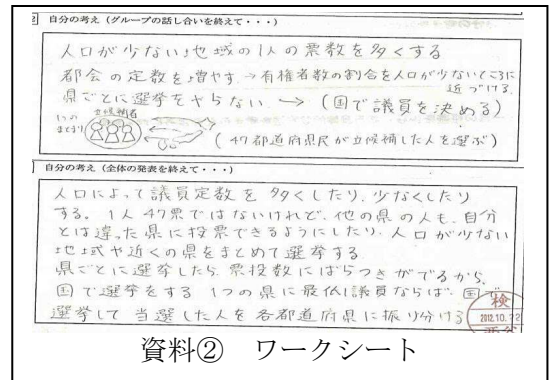
- ① 現在の選挙制度の課題である「一票の格差」について，一票あたりの有権者の数(一票の価値)を例にあげ，提示資料とともに全体で「一票の格差」を確認した。(資料①)
- ② 本単元の重要な課題である「一票の格差を少なくするための対策とは」について，自分の考えをワークシートへ記入し，3人～4人のグループで対策を考え合った。(資料②)
 - ア 導入時の自分の考えを記入した
 - イ グループでの考えを，ワークシートへまとめた。
 - ウ グループの考えを代表者が発表した。(資料③)
- ③ 最高裁判所の違憲判決や議員定数削減などの現在の政府の対策について，全体で確認した。
- ④ 最終的な自分の意見をまとめた。



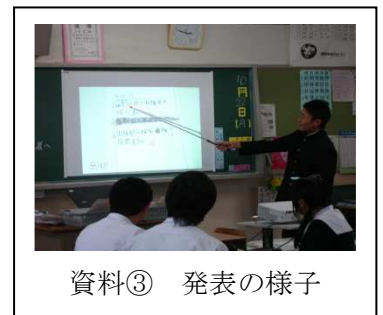
資料① 資料提示の様子

6 成果と課題

- 一票の価値を捉えさせるために，資料を提示する際にプレゼンテーションソフトのアニメーション機能と電子黒板のマウス機能を併用することで，生徒の興味関心を高めることができた。
- グループで話し合った内容をまとめたシートをプロジェクタを活用して拡大提示することで，聞き手に分かりやすい発表となった。また，考えが伝わったことにより，生徒たちの自信へとつながった。
- プロジェクタや電子黒板の説明の途中で，ICT機器の操作に意識がうつってしまうことがあった。何度も使い，操作に慣れることで，より発表に説得力が増すようになると考える。



資料② ワークシート



資料③ 発表の様子